

脱 温 通 信

か ご し ま

第33号

平成28年2月発行

グリーン日記コンテスト結果

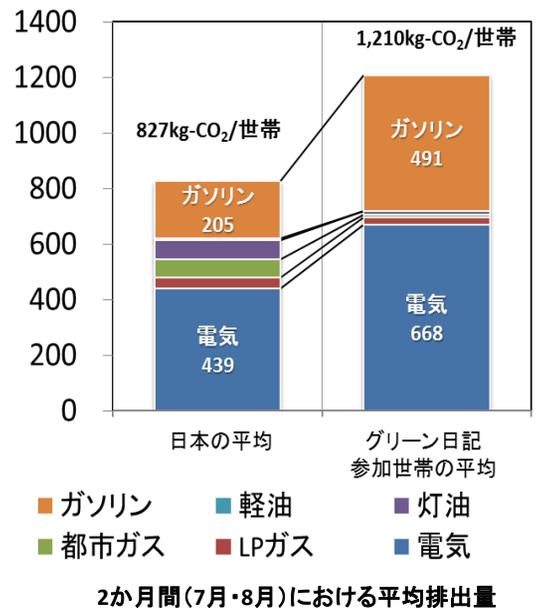
グリーン日記コンテスト、今年度参加者の31校1,920名の中から、最優秀賞10名優秀賞30名と学校賞5校が決定しました。受賞者の皆様、おめでとうございます。

今年度は、親子一緒に楽しんで取り組んでいる様子が、たくさん見受けられました。賞に入った方も入らなかった方も「環境に良いことを」という思いがひしひしと感じられました。

きっと、環境への良い取組は、今も続いていると思います。

1月24日開催予定の表彰式は、残念ながら大雪のため開催されませんが、活動事例などホームページに掲載しました。

<http://www.kagoshima-env.or.jp/kocca/> ぜひご覧ください。

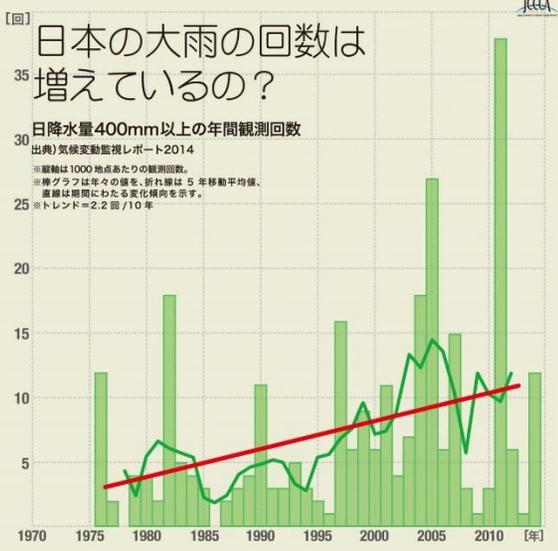


平成27年度グリーン日記参加世帯の家庭のうち、集計が可能な522世帯を対象に二酸化炭素の排出量を計算したところ、7月、8月の2か月間で1世帯当たり1,210kg-CO₂でした。これは、日本の平均のおよそ1.5倍に相当します。

日本の平均と比較し、ガソリンからの排出量が約2.5倍になっています。

公共交通機関が発達していない地域の特性を表しているといえます。

また夏場は電気の使用量が増加する傾向にあり、その影響も反映されているといえます。



出典) 気象庁「気候変動監視レポート2014」
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)より

気候の変化と体調不良について

雨が降りそうになると、ふしつぶしや頭が痛んだり何となく元気がなくなったり…そんな経験ありませんか？
暖かくなったと思ったら急に寒くなったり、豪雨に襲われたり。お天気が急になると自律神経の調整がうまくいかずにバランスがくずれます。その結果、頭痛やふしつぶしの痛みや気分が落ち込むといった心身の不調が出やすくなります。
気候の変わりやすい季節はお気をつけてくださいね。

<左図表について>

全国約1,300地点の地域気象観測所(アメダス)において観測された日降水量400mm以上の大雨の発生回数を年ごとに集計し、最近38年間の変化傾向をみたものです。日降水量400mm以上の年間観測回数については増加傾向が現れています。(信頼度水準90%で統計的に有意)

アメダス地点で日降水量が400mm以上となった年間の回数を、1,000地点あたりの回数に換算しています。

太線(緑)は、その年と前後2年を含めた5年間について平年差との平均をとった5年移動平均です。これによってゆっくりした変動を見ることができます。

直線(赤)は平年差の長期的傾向を直線として表示したものです。

◆推進員の新任・辞退届について◆

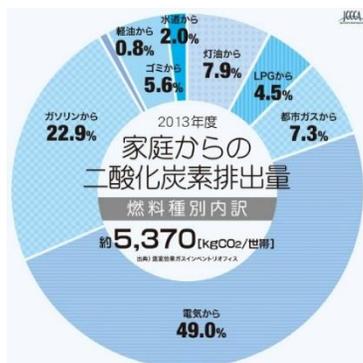
新しく推進員になりたい方、推進員を辞退される方などがございましたら、お住まいの自治体の環境関連課もしくは鹿児島県地球温暖化対策課(099-286-2586)までご連絡ください。

環境家計簿集計結果について

6月から8月にかけて、推進員の皆様にご協力いただいた環境家計簿の集計結果をご報告します。皆様のご協力により、夏期における鹿児島県内の家庭からの二酸化炭素が、何からどれだけ出ているのか、光熱費として何にどれだけ掛かっているのか分かりました。

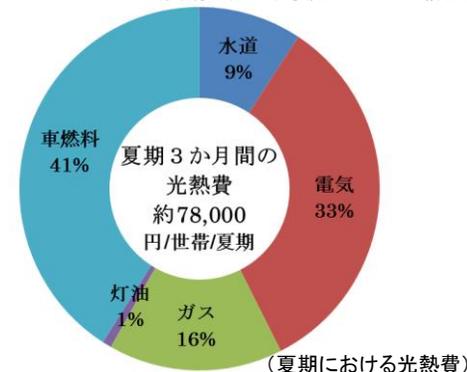
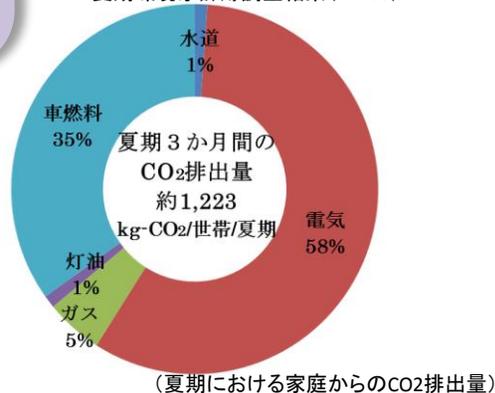
夏期3か月間における、参加世帯のCO₂排出量の平均値は約1,223kg-CO₂でした。昨年度に比べ車燃料による排出割合が減りましたが、それでも全国平均より大きい値となっています。(昨年度の車燃料割合41%)逆に電気による排出割合は、昨年度より大きく増えました。(昨年度の電気割合46%)

毎年このような方法で皆様のご家庭からのCO₂排出量の調査を行っております。参加者が増えることで、より正確なデータを得られることとなります。光熱費10%分を節約できれば、1年で約30,000円も家計を助けることとなります。まずは結果を見ることでふりかえり、よりエコな暮らしに取り組んでみてはいかがでしょうか。



図：2013年度家庭からの二酸化炭素排出量出典
温室効果ガスインベントリオフィス
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<http://www.jccca.org/>)より

図：平成27年度 鹿児島県における夏期環境家計簿調査結果 (n=56)



LIXIL最優秀エコライフ活動賞受賞!!

低炭素杯2016 in 日経ホール 鹿児島県立薩南工業高等学校 建築工作同好会



次世代に向けた低炭素社会の構築を目指すコンテスト!

2月16、17日に東京・大手町の日経ホールにおいて「低炭素杯2016」が開催されました。当日は、全国各地から38団体(応募総数1,993団体)が参加し、鹿児島県からは『鹿児島県立薩南工業高等学校建築工作同好会』が出演。かなや木馬を持ち込み工夫を凝らした舞台となりました。学生と地域が一体となって実施する活動は審査員来場者ともに評価が高く、LIXIL最優秀エコライフ活動賞を受賞されました。鹿児島県立薩南工業高等学校 建築工作同好会のみなさま、おめでとうございます。

◆鹿児島県立薩南工業高等学校 建築工作同好会の取組◆

知覧型木材循環システム ～木をもらう→作る→贈る・育てる→～

地元建設会社から産廃として廃棄予定の木材をもらい、製材し、木工の練習をしています。そこで出た廃材を使って幼稚園、小中学生に木工教室をおこなったり、公共施設やバス停、保育園などに木工品寄贈活動を行っています。また製材や加工で出た「おがくず」は子牛のベッドとして牛の畜産家へ、「木端」は薪割の困難な市民へ風呂焚き用薪として提供しています。予算が必要なく各々にメリットがある活動なので継続可能な取組です。
<https://youtu.be/VHZV-tcbwQ8> (発表の様子が視聴できます。)



本紙作成に伴い発生する温室効果ガス(紙の使用)については、県内の森林整備による吸収量(かごしまエコファンド)を購入し、カーボン・オフセットしています

【お問い合わせ】

推進員通信Vol. 33

編集・発行

鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター
(一般財団法人 鹿児島県環境技術協会)
〒891-0132 鹿児島市七ツ島一丁目1番地10

電話:099-284-6013 FAX:099-284-6257